



**POWER  
PLACES**

**Tokyo**



**DELL** Technologies

**DW/EN**  
Dell  
Women's  
Entrepreneur  
Network

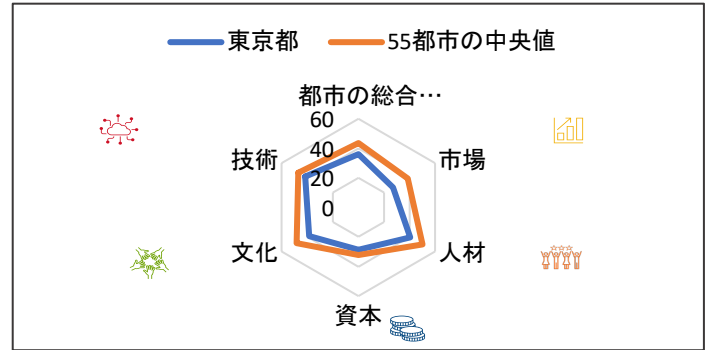
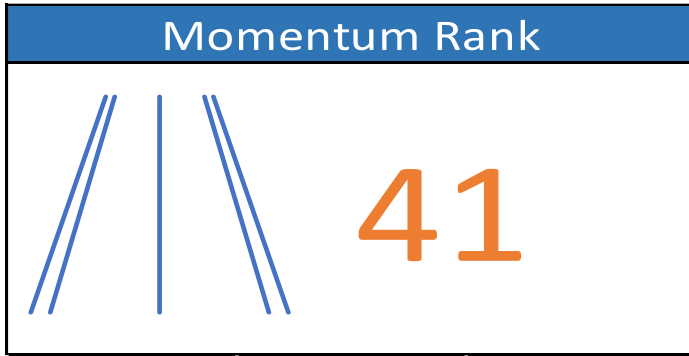


IHS Markit now a part of

**S&P Global**

# 東京都

総合スコア **36.1 点 (100 満点中)** | 総合順位 **45 位 (55 位中)**



## 基本情報：

- 人口：3,739 万人
- 都内総生産（GMP）：2.01 兆ドル（2022 年）
- 雇用別上位業種：
  - 卸売・小売
  - 情報・通信
  - 医療・健康・福祉

## 特筆すべき強み：

経済成長と人口増加が新型コロナウイルスが流行する以前から国家レベルで鈍化していたにもかかわらず、東京都は今でも世界有数の都市の 1 つであり、世界の経済活動を牽引し続けている。過去 10 年間の都市圏における緩やかな成長により、東京都は首都圏に 3,700 万人以上の住民を擁し、年間 GDP で 2 兆ドル以上を生み出すことから、世界で最も人口が多く、（GDP において）経済の面で最大の都市としての地位を維持し続けている。世界で最も多くの名門大学を有し、男女ともに高い高等教育達成率を誇るグローバル都市として、東京都の企業が取り扱う高学歴の人材規模は最大級に該当する。職場における高学歴の女性の人材規模も同様に最大級である。

総合順位		45 位
経営環境		45 位
市場		45 位
規模		1 位
物価		39 位
アクセス		55 位
方針		45 位
人材		41 位
女性の能力・経験		51 位
有資格者の確保状況		13 位
資本		42 位
数値・価値		13 位
男女比		54 位
女性の資本力		3 位
実行可能な環境		45 位
文化		41 位
メンター・ロールモデルとの接点		52 位
姿勢・期待		17 位
方針		43 位
技術		44 位
接続性		33 位
物価		4 位
方針		46 位

一般的に大企業が多く存在することで知られており、起業家精神やスタートアップの輩出ではそれほどではないかもしれないが、東京都（および日本全体）は他のグローバル都市に匹敵する、より強力なスタートアップ・エコシステムの育成に注力している。スタートアップのために調達された資本金が2019年<sup>1</sup>に48億ドルまで劇的に増加したこともあり、東京都はStartup Genomeの2020年グローバル・スタートアップ・エコシステム・レポートで15位にランクインし、シンガポールやソウル、香港をはじめ、多くのアジア国内の大都市を上回った。急成長する東京都の資本やスタートアップ環境は、都内の女性起業家不足の歴史的傾向（後述）の打破までは及んでいないかもしれないが、女性のリーダーシップや、女性の起業家精神の支援および推進を目指す明確な取り組みがある。政府レベルで言うと、都庁による女性の活躍を推進するプログラムは現在第7期目であり、女性起業家がグローバル展開を図ることに特化した指導や支援を行っている。

### 改善すべき点は以下である：

東京都では企業の上層部（取締役会など）およびスタートアップ環境の両方に占める女性の割合が乏しい歴史がある。東京都のスタートアップや事業所有権におけるエコシステム、またはその延長上のパイプラインには多くの問題点が存在し、それにより、女性が潜在的な起業家としての地位を確立したり、事業を形成したり、または経験豊富な経営幹部になるための支援および推進が欠如している。東京都は、同一賃金や無差別のほか、有給の産休および育児休暇の両方に向けた政策について他の主要都市と歩調を合わせているものの、競争力のあるWE都市指数では、これらの政策は急速にテーブルステークス（必要最低限の要件）になりつつある。

エコシステム的一方では、東京都が世界でも有数の大学に加え、大学教育を受けた女性の人材を大人数抱えているにもかかわらず、名門大学への女性の入学率は平均をはるかに下回っている。この事実は、女性やキャリア展望に対する日本人のとらえ方を取り巻く文化を変える必要があると唱える記事で取り上げられてきた。<sup>2</sup> 女性起業家に対する資本支援において、女性の起業を推進するだけでなく、特に女性が所有する企業に対して必要な資本をもって支援するために、都は大幅に改善する余地がある。そのさらに延長線上では、幹部経験における女性の比率が男性に比べて低いことが、メンターやロールモデルとの接点の欠如（52位）にも表れており、女性が起業家や将来のビジネスリーダーになることを後押しする上でもう一つの重要な要素である、東京都は、資本と市場において比較的強い地位を活かして、女性の役割を高めることにより、女性が大きな夢を抱くための心構えや期待を持てるような好循環を生み出せる文化を推進する必要がある。それにより、より多くのロールモデルやメンターを生み出し、社会全体における心構えと期待を変えることができる。

改善点には、女性のためのスタートアップおよび企業の所有権におけるエコシステムについてさまざまな要素が表れているが、これらは密接につながっている。東京都がこれらすべての面において、改善に向けて努力を継続または強化することにより、望ましい結果を得られると思われる。そうなった場合、離陸に向けて滑走路を走り、軌道に乗ることができる。2017年以降、指数における動きは最下位付近まで推移している。高齢化が進む中、女性の起業により、東京都市場が上位を維持できる持続可能な成長への道筋を立てられる。

<sup>1</sup> INITIAL (<https://initial.inc/articles/japan-startup-funding-2020-en>) によると、

<sup>2</sup> 2019年のニューヨークタイムズの記事「日本最高峰の大学 女子学生は5人に1人のみ」を参照。